

番号	29	改修記念碑		
所在地	唐津市相知町町切 町切堰			
災害別	昭和42年(1967) 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和43年3月	
特記事項				



巖木川から取水する町切堰の歴史は古く、江戸時代初期に設けられたものと言われている。この碑は昭和42年7月9日の豪雨で井堰が決潰し、その改修工事の竣工を記念したもの。

碑文には次のように記されている。「幾十年堅牢を以て関係耕地四十数町の灌漑を果ひし当井堰も昭和四十二年七月九日の大水害にて大半の決潰を受けた 各区は挙って関係方面に懇請し幸ひ認可の運となり本年三月竣工す 将に明治百年の記念事業にも当り又今後百年の安泰を念じ関係区民一同喜びに浸る

昭和四十三年三月

総工費 金 九百八十万円
施工者等氏名(略)」

(原文はカタカナ表記)

なお、この碑の他、周囲には、明治18年、昭和19年の改修記念碑が建てられている。





国土地理院電子国土 Web